



三条北ロータリークラブ週報



例会日 2010. 10. 5 累計 No.1147 当年 No.13



加茂 RC ハートフルコンサート

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:north@sanjo-nrc.org

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:レイ・クレンジンスミス
地区ガバナー:東山昶也(上越RC)
三条北RC会長:小林繁男
三条北RC幹事:西村 護
三条北RCSAA:岡田大介

■出席状況

・本日の出席:70名中40名

・先々週の出席率:

70名中57名81.43%
(前年同期80.88%)

■本日の行事:「米山月間」

■本日のゲスト:米山奨学生

ヤーヤ・ムハマド・イズアリ君

■先週のメイクアップ:(敬称略)

9月29日三条RC 青柳康博
石川勝行、本間建雄美
中條耕二、高橋彰雄

10月1日三条北・東RC合同コンペ
丸山 勝、斎藤 正、米山忠俊
大橋政雄、渋谷義徳、梨木建夫
坂内康男、大野新吉、岡田 健
加藤 實、佐藤義英、石川一昭
岡田大介、佐藤弘志、早川瀧雄
2日米山委員長セミナー

青柳康博
2日加茂RC50周年式典
阿部勝子、石川勝行、石黒隆夫
大野新吉、落合益夫、小林繁男
駒形 実、高橋彰雄、中條耕二
西村 護、早川瀧雄、樋口金占
金子太一郎、馬場直次郎
淵岡 茂、星野義男、丸山達夫
安田貞夫、山上茂夫、山中 正
山本 賢、米山忠俊
米山キクエ

■本日のメニュー:811kcal

あさりと水菜のはりはり煮 91
御造り 94
鱈の醤油漬焼 174
ほうぼうの野菜あん掛け 139
御飯 168
御味噌汁・漬け物 65
フルーツのゼリー掛け 80

会長挨拶:小林繁男会長



皆さんこんにちは。

2日の土曜日に加茂RCの50周年記念式典に参加してきました。北RCは25周年ですが、もう25年後となると、私は90歳です。今日、ご出席の皆さんの中でも何人かは・・・と思い50年の歴史の重さを感じました。

今日は「米山月間」で行事が詰まっていますので挨拶は終わります。

幹事報告:西村 護幹事



・東山ガバナーより

地区大会に於ける選挙人選出のお願い

・青少年交換委員会事務局より

2011-12年度一年交換学生募集のお願い

・米山記念奨学会より 感謝状送付の件

米山功労者第4回 斎藤 正会員

・三条市青少年育成市民会議より

第6回私のメッセージ三条市小学生大会の後援のお願い

理事会報告:第3回理事会

開催日:平成22年10月5日

出席数:14/14(内委任状1)

出席者:小林繁男、星野義男 斎藤 正、西村 護、山中 正
佐藤義英、岡田大介、石川勝行、渋谷義徳、金子太一郎
淵岡 茂、石川友意、米山忠俊、石川一昭

協議事項1.「早朝例会」決算報告 承認

2.指名委員会報告 承認

9/21(日)18:30~ 於:日本料理魚長
早川瀧雄会員を推薦

3.商工会議所70周年記念広告依頼の件 承認

4.社会奉仕事業(案)の件 承認

2011年4月23日(土)三条中央公民館
黒川伊保子講演会

5.地区大会投票選挙人選出の件 承認
会長・幹事・副会長とする

6.私のメッセージ小学生大会後援依頼の件 承認

7.報告事項 承認

9/14BOX投入分より

米山記念館募金へ7千円 緑の百年物語へ1万円

8.三条RAC協力金の件 承認

ニコニコBOXより3万円協力

■ロータリー財団BOX：5日現在累計94,000円

■米山奨学BOX：5日現在累計126,000円

青柳 康博君 「米山月間」を記念してボックスを回しますので皆さんご協力をお願いします。

■ニコニコBOX：5日現在累計293,000円

- 星野 義男君 米山奨学委員会副委員長青柳さんご苦労様です。
- 山上 茂夫君 久しぶりに加茂RCの50周年に参加して楽しい一時を過ごしました。また同席した方々にお世話になりました。感謝して・・・
- 早川 瀧雄君 6日商工会議所印刷紙器関連部会で3泊4日の中国上海に印刷会社視察に行ってきます。夜の視察も楽しみです。星野さん、渋谷さん、石川さんよろしくお願ひします。
- 石川 一昭君 10/1の北・東合同ゴルフコンペありがとうございました。楽しく参加致しました。又優勝大野さん、準優勝早川さん、三位加藤さん、ワンツースリーは当北クラブでした。ありがとうございました。
- 斎藤 正君 後期高齢者の保険証が届いた今年の誕生日は嬉しくもあり哀しくもありタメ息の出るバースデーです。
- 丸山 達夫君 BOXに協力
- 落合 益夫君 //
- 山崎 勲君 ノーコメント
- 今井 克義君 ネクタイ着用ですがまだ左手が動きません、しばらくの間お許し下さい。
- 本間建雄美君 何時もご協力ありがとうございます。

本日の行事：「米山月間」

米山奨学委員会 青柳康博副委員長



今日は大野委員長が所用でお休みですので私が代わってお話します。

米山奨学生イズアリ君のスピーチ後、DVD「素晴らしい贈り物」を見ていただきます。米山奨学事業の醍醐味を是非体験してください。

米山記念奨学会とは

日本で最初のロータリークラブ（東京ロータリークラブ）初代会長の米山梅吉氏の功績を記念し発足した日本のロータリー独自の事業です。

国際理解と相互理解及び国際親善と交流を深めるため日本で学ぶ外国人留学生を支援し世界平和の創造と維持に貢献する事を目的としています。

現在は民間最大の奨学事業となっていますが、全てロータリアンの寄付で運営されています。

普通寄付

各クラブで決められた金額×会員数（7月1日・1月1日）を全ロータリークラブ会員から定期的（半期毎）に納入

当北RCは2,000円×会員数で一般会計に予算計上

特別寄付

個人・法人またはロータリークラブとして任意で寄付

税制優遇措置が受けられます（年間寄付額2,000円以上）ロータリアン以外の個人・法人・団体からも受けています

一括10万円でも数年で達成されてもかまいません。例会等で申し出がなくBOXに頂いた寄付はクラブ扱いとします

表彰制度 特別寄付の累計に対しての表彰

個人 感謝状、盾、メダル、ピン等がその都度贈られます

3万円準米山功労者として登録

10万円達成 米山功労者

20万円以上10万円毎にマルチプル〇回米山功労者

100万円以上はメジャードナー米山功労者

法人 感謝状、盾等が贈られます
5万→35万円 準米山功労法人
50万円 米山功労法人
100万円 米山特別功労法人

クラブ 100万円毎に米山功労クラブ（北RC2008年6月第20回）
10万円以上創立記念特別寄付として

普通寄付と特別寄付の合計が1千万円毎に表彰（北RC2008年6月2千万円達成）

初回2,000円以上を寄付し米山功労者にエントリーし、各金額に達成の度に表彰。

寄付金については、全てクラブ事務局経由で米山記念奨学会に送金します。

他、ご質問等は何時でもお受け致します、米山奨学委員または事務局までご連絡お願い致します。

米山奨学寄付について現状（小林年度）

特別寄付として

年会費（下期）と同時寄付申し出を頂いている方は41名、78万円です。

例会時に米山奨学BOXに投入分（9/21現在92,000円）

普通寄付として

上期 2,000円 × 70名 = 140,000円

下期 2,000円 × 70名 = 140,000円（予定）

目標額 18,000円 × 70名 = 1,260,000円

★上記の様に 現在目標額に対して108,000円足りないこととなります。

例会時、BOXにご協力いただくことは勿論ですが、功労者にエントリーいただき、全会員の方から主旨をご理解いただき功労者にエントリー、ご協力いただけるようお願い申し上げます。

個々の寄付累計額は、現況報告書に記載されていますのでご確認ください。

米山奨学生：ヤーヤ・ムハマド・イズアリ君



「9年目の日本での生活」

日本に来て9年目になりました。あつという間の感じでしたが、自分の国より日本の生活のほうになれてしまうというのを感じます。最初に来たときにすごく寂しかったのを思い出しました。実は日本来る前に18歳の若いときに婚約したことがありました。それはお互いの親が「婚約しろ」というからです。彼女はあの時に18歳ですが、僕よりすごく大人で、妻として「いいな」と思って好きでした。日本に来て家族と婚約者と離れてすごく寂しかったです。成田空港に到着し、一番探したものは電話でした。「無事に到着した。心配しないで」と母と婚約者に報告したのを思い出しました。

そして東京に住んだことが本当にありがたいと思います。東京が好きと言うことではなく日本人のライフスタイルと時間の大切さを知ることになりました。ライフスタイルですが、国ではゆっくりというか、マレーシア人の動き方がゆっくりと思います。一方、日本ではすごく足が早いと思います。日本人はなにかを追いかけるように、動きがすごく早いと思います。そこで、時間を大切にできるんじゃないかなと思います。特に東京の人たちは毎日忙しそうに見えてすごくショックでした。

そして東京の生活、1年間が経って僕は新幹線に乗って名古屋に行きました。そのときに初めて新幹線に乗りました。飛行機のような動きというか凄く速く感じました。そして名古屋に到着して、地下鉄に乗って豊田駅へ向かいました。町の雰囲気的には東京と全然違う町で、人が少ないと感じました。豊田市で3年間という長い時間を住むことになりました。ありがたく、先輩たちがイスラム教で食べられるものについていろいろ教えてくれました。また、高専に居たときには、最初の一年間は僕より年下のチューターと同じ部屋に住むことを決められて、日本人の学生たちの勉強し方とか、掃除の当番とかをいろいろ教えられてきました。寮と高専の生活を楽しく過ごすことができましたと思います。

高専の4年生の春でした。婚約者と別れことになりました。日本に来て初めて涙が出ました。そのときにクラスメートの支えがなかったら、多分僕は日本にもう居ないだろうと思います。毎日僕の部屋に来てくれ、外食にも誘ってくれ、すごくやさしかったです。そしてそのときからタバコを吸いはじめました。ある日、スリランカから来た同級生が言った言葉で僕の人生は180度

変わりました。それは「男はキャリアが無いと終わりだ」といってくれました。そんなシンプルな言葉ですが、僕にはインパクトが大きかったです。

そして、時間を経て高専の実務訓練をやることにしました。僕はみんなと違って大使館の実務試験に合格し、マレーシアにある日本企業（パイオニア株式会社）で一ヶ月間、実務訓練をやることになりました。初めてマレーシアの社会人のように生活しました。仕事は大変ですが、エンジニアの仕事を知るようになりました。日本卒の先輩たちの助けで無事に実務を終わりました。

高専の5年生になり、先生の推薦により企業からいくつかのオファーがあ理真下が僕自身は「まだ勉強したい、日本にいたい」という気持ちで母と相談し、進学することに決めました。日本人の学生さんたちと受験勉強をやって、自分が苦手なことを頑張れば誰でもできると感じました。人間は頭がいいわけではなくても知りたいという気持ちでがんばればなんでもほしいものが叶えると気づいた。運もあると思いますが、がんばり力が一番と感じました。

そして、技大で3年に編入しました。学部3年生のとき、寮がだめで、下山町にあるアパートに住んでいました。勉強は高専とはあまり変わらないが、学生たちはやはり大人だなと感じました。また、先輩のお勧めで日本に来て初めてバイトをやりはじめました。最初はちょっと怖いですが、長岡の人たちは以外と優しいと感じます。初めての店長は厳しかったが、店のためにやることなので、当たり前だと思います。また企業と同じくお客さんのために働くことをバイトで初めて知ることになりました。僕らの給料はお客さんが出したお金だと思って、お客さんのために一所懸命でバイトをやってきました。最初はバイト先でも知らない人ばかりでしたが、店のためにみんなががんばって仲良くなって、現在までフレンドです。

学部4年生の夏です。バイト中にお姉さんから電話が来ました。「母が倒れて、病院に運ばれた」と泣きながら言っていました。そのときに、店長と研究室の先生と相談し、次の日の飛行機で帰ることにしました。3年間ぶりの帰国でした。病院に到着して、母をはじめてみたときに涙が止まらずに出てきました。母は意識不明でした。一週間で二日間でしたか意識が戻り笑いながら話しましたが、その以降は母の状態が悪くなって、2週間目に母が亡くなりました。そのときに、店長、学校の先生そしてバイト先の友達からの電話が無かったら、僕はもう日本に戻らなかつたつもりでしたが、お姉さんを守るために、日本に戻って、先生と相談し、1年間留年することにしました。それは、進学するために実務訓練をしなければならないのと保険をもらう前に母の残した借金を返すため決めたと決めたことでした。

留年期間中は、お姉さんを支えるのは僕しかないと責任を感じて、学校の一学期は授業が無かったため、一日に二つのバイトをやって月は約30万円ぐらい稼げ、その半分はお姉さんに送金しました。大変でしたが、自分にとっていい経験になりました。

大学院に進学するための実務訓練です。実務訓練先は長岡市にあるマコー株式会社で、学校から車で約10分です。いろいろな長岡出身のエンジニアと出会って本当によかったと思います。研究している内容とほとんど変わらないので、以外と楽しかったです。

研究内容ですが、学部では金属をさびないように研究をしてきたが、大学院では同じ装置を使って、金属ナノシート（10億分の1メートルの板）という意味で、昔できないことをうちの装置でできるようになりました。ただ、現在作れる量は非常に少ないですが、僕の仕事は量産のために多く作れる方法を開発することです。作製するためにパルス細線放電という装置を使っていますが、その発想でマコー株式会社は生産することです。現在マコー株式会社を独立し、僕の就職先であるパルメソ株式会社が開発しています。パルメソ株式会社ですが、僕を含めて社員が5人で、現在、NBIC（ながおか新産業創造センター）にあります。小さい会社ですが、社員がみんな知り合いで、将来、パルス細線装置またはナノ粒子の作製技術を国に持っていきマレーシア支店を建てると思ってパルメソに就職すると決めました。

日本の9年目そして長岡の5年目で、日本の生活にすごく慣れて好きです。日本にいたからこそ悲しみ、楽しみ、経験をして大人になりました。日本の生活に慣れてしまつて国での自分の生活を思いつかないぐらいの人生だと考えています。日本にいろいろな人と出会っていろいろな交流をすることで僕が今日まで日本に居られたと思います。また、みんなさんのロータリアンと出会えなかったら、このステージの上にはいないでしょう。ロータリークラブの奨学金を合格したことが最大のチャンスだと思います。人間はひとりで生きていけないと思います。人と出会うことから、いろいろな自分の可能性を見つけ出せると思います。

先々週に新発田市に行われたRYLA研修に行つて参りました。米山さんと外山さん、お疲れ様

でした。はじめはちょっと緊張しましたが、グループごとにわかれ、10人中3人が学生で、他は社会人でした。知らない人ばかりでしたが、二日間研修をやって、中がいい友達ぐらいになりました。僕は研究室でいつも一人でやってみんならの意見とかはたまに聞くタイプなので研修の内容でチームワークの必要性を知るようになりました。すごく短い時間で自分自身にとって本当に勉強になりました。研修中で一番印象に残ったことは12キロの歩きです。久しぶりにこんな距離で歩いていました。足が痛かったが、歩いているときに、自分のグループメンバーとはバラバラになってしまったが他のグループメンバーと交流することができてよかったと思います。

最後になりますが、学生生活とロータリアンとのお付き合いは残り5ヶ月間ですが、悔いのないように学生生活、研究、そして来年の就職を頑張りたいと思います。以上で今日のスピーチを終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

米山奨学生カウンセラー山本 賢会員



日本のロータリー創始者である米山翁の思い、二度と戦争の悲劇を繰り返さない、世界中の人達と友情を結び国際親善、世界平和への強い願いは多くの人々の共感と賛同を得、その絆を育む土壌は「東京米山友愛ロータリークラブ」の設立、上海での「中国米山学友会総会」の開催など、国際奉仕事業として花開いてきているように思います。

イズアリ君のカウンセラーをさせていただきまして、何故か自分の子供には素直に接する事ができない私なのに、イズアリ君の前では素直になれる自分がいる事に気づいている昨今です。それは彼の壮絶な人生体験を目の当たりにし、並々ならぬ努力に頭が下がる思いがあるからです。無知でいたらぬ私をカウンセラーに選んでくださり勉強する機会を与えてくださったロータリーの皆様に感謝申し上げます。



米山マルチプル（4回）功労者感謝状伝達

ご協力ありがとうございます。

加茂RC50周年記念式典





「ロータリーの会員は、その一人ひとりが、自分の職業とロータリーの理想とを結ぶ環である(ポール・ハリス)」

会員同士が会員企業の職業分類を知ることにより、会員の親睦、相互扶助、職業奉仕にこの「企業紹介コーナー」がお役に立つことができれば幸いです。



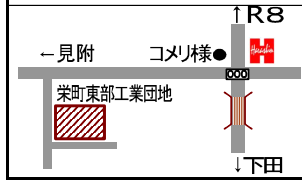
by 会報・広報・資料委員会

■外山裕一さん(新世代奉仕及びライラ)



■事業所名	株式会社外山製作所
■職種分類	自動車部品製作所
■住所	三条市大字吉野屋1403
■TEL.	0256-45-5331
■FAX.	0256-45-5341

アクセスマップ



👏👏 こんな仕事をしています

■創業以来変わる事なく受け継がれた歴史の上に未来への道が続きます。

自動車部品の製造をしています。シート部品のプレス、バンダー、溶接加工を行っています。他に建築金物等の製造を行っています。

社屋全景



👏👏 我が社のPRポイント

■ひとつひとつの技術の・二私達にしか造れないもにがあります。

溶接ロボット、NCバンダーの自動化ラインの金属加工は県内で誇れるものを持っています。また5S活動を行っており、整理整頓、社員教育に力を入れています。

本社サイン塔



● 商談風景



● 事務所内



我が家のポチ・タマ
ペット自慢
外山裕一さん
「ケンくん」
part1



お～、なんだなんだ。僕の寝顔を撮ったら行かんぜよ(龍馬風)。僕の名前は「ケン」、今年8.8歳の男の子です。特技だっ…そりゃ見ればわかるだろう。もちろん「寝る事」だよ。好きな食べ物だっ…う～ん、難しいな、だっ…嫌いなものがないんだもん。食べられるものなら、なんでも好きだよ(笑)。
※外山さんの一言。「長生きしてちょうだい」。

我が家のポチ・タマ
ペット自慢
外山裕一さん
「マロンちゃん」
part2



外山さん二人目(二匹目)のワンちゃんは「マロンちゃん」。3.8歳の女の子です。ちょっと小首をかきつけて見つめるような眼差しが堪りませんね(笑)。もちろん特技は、あ・ま・え・る・こ・と。外山さんデレデレ振りが見えるようです(笑)。好きな食べ物は「ギャーキーと豆類(えっ、ギャーキーって何ですか?)」今度教えて下さい。
※外山さんの二言目。「いつも癒されています」。